



みんなで学ぼう 身近な病気とケガの手当て

病院受診のタイミング

◎熱があるとき

何度以上の熱で受診すべき？ ⇒38度以上の熱が出たら、病院へ！

以下のような症状がある時は早急に受診を！！

- ① 水分がとれない。おしっこがでない。
- ② 呼吸が速い。苦しそうにしている。
- ③ 活気がない。(ぐったりしている。)
- ④ 顔色が悪い。
- ⑤ 肌が乾燥している。(口の中も。)
- ⑥ おう吐、下痢の回数が多い。
- ⑦ 生後3か月未満での発熱。
- ⑧ けいれんを起こした。



《熱を伴う病気》

- ・突発性発疹
- ・インフルエンザ
- ・おたふくかぜ
- ・扁桃炎、咽頭炎
- ・急性胃腸炎
- ・肺炎

◎咳をしているとき

どのような咳の時に受診すべき？

- ・激しい咳が止まらない。
- ・ゼーゼーと息をしている。
- ・咳が数日、数週間続いている。

以下のような症状がある時は早急に受診を！！

- ① 呼吸をする際「ヒューヒュー」「ゼーゼー」といった音がする。
- ② 呼吸回数が多い。
- ③ 全身を使って呼吸をしている。
- ④ 咳がひどく眠れない。
- ⑤ 犬の遠吠えのような咳をしている。

《咳を伴う主な病気》

- ・気管支喘息
- ・気管支炎
- ・肺炎

◎吐いたとき

- どのような場合受診すべき？
- おう吐と下痢を同時に何回もくり返す。
 - 吐いたものに血液や胆汁（緑色）が混じる。
 - おしっこが半日くらい出ていない。
 - 唇や舌が乾いている。
 - 10分～30分おきに腹痛をくり返す。
 - けいれんを伴ったり、ぼんやりしたりしている。
 - ひどい腹痛、強い頭痛、頭を打ったなど。



◎下痢をしたとき

- どのような場合受診すべき？
- 下痢が1日6回以上続く。
 - 強い腹痛がある。
 - 白っぽい便、血液まじり、黒い便がでる。
 - 唇や舌、皮膚が乾燥している。
 - おしっこの量が少ない。
 - 発熱、嘔吐を伴うとき。

◎子どもが新型コロナウイルスに感染したときの主な症状

- 発熱、咳（乾いた咳）。
- 嘔吐、腹痛、下痢など。
- しもやけのような症状、発疹なども報告されている。
- 鼻汁や鼻閉などの上気道症状は比較的少ない。

◎神奈川県発熱等診療予約センター

0570-048914(9:00～21:00)

☆かかりつけ医で受診できない方のみ電話をする。

<対象者>

発熱・咳・咽頭痛の症状のある方。



濃厚接触者であると連絡を受けている方は利用せず保健所の指示に従ってください。

◎休日夜間に受診したいとき

- かながわ小児救急ダイヤル（毎日 18:00～24:00）

#8000 または 045-722-8000

<内容>

お子さんの体調の急変などに関する一般的な助言

<相談対応者>

専任の相談員（看護師など）

- 秦野市（夜間、日祝日など）

一次救急医療施設→秦野市休日夜間診療所（0463-81-5019）

受付時間 平日夜間 20:00～22:45

日・祝日 9:00～11:30

13:00～16:30

19:00～22:45

※受診の前に電話をしましょう。

眼科、耳鼻科について→当番医療機関あり（9:00～17:00）



神奈川県当番医療機関で検索すると
地域別で載っている。



HPで確認できない場合は消防署へ問い合わせ

0463-81-0119

情報提供

休日夜間診療所 栗原鮎美 看護師

